

佐波川だより

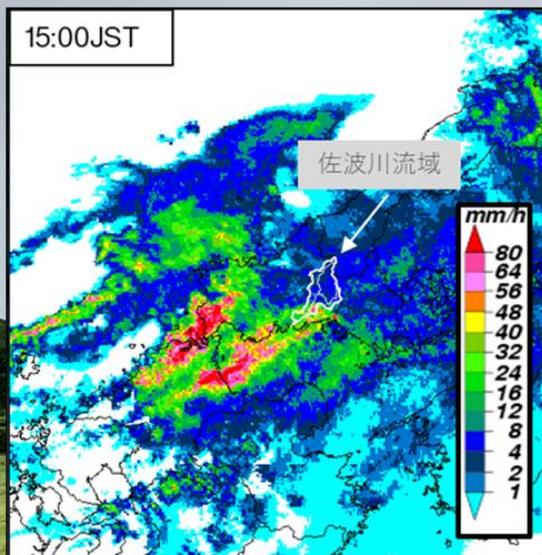
2025
9月号

佐波川における 豪雨の四日間と治水の成果



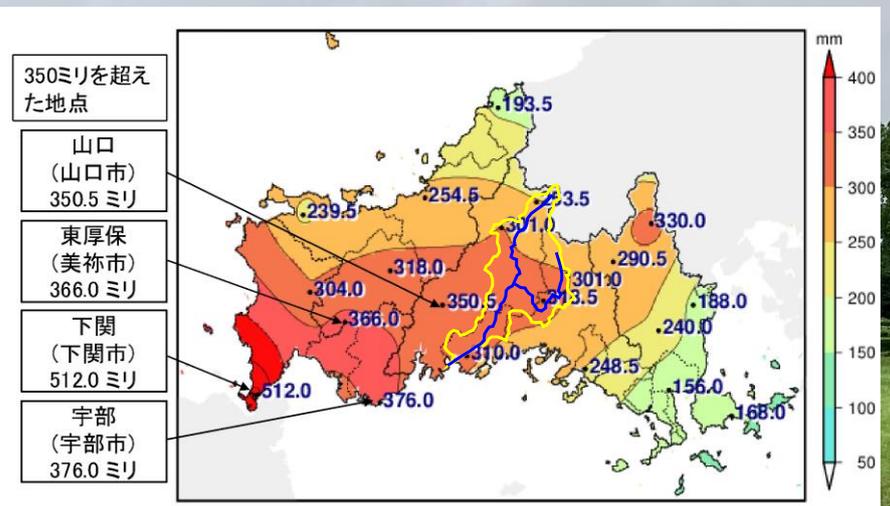
令和7年8月9日から12日にかけて、山口県内は停滞した前線の影響で大気の状態が非常に不安定となり、記録的な大雨に見舞われました。下関市では512ミリ、宇部市で376ミリ、山口市で350.5ミリなど、各地で平年8月の月降水量を上回る雨が観測されました。佐波川流域でも2日間で250.6ミリと、平成21年7月の出水を大きく上回る雨量となり、水位の上昇が続きました。

気象レーダー画像（8月10日15時）

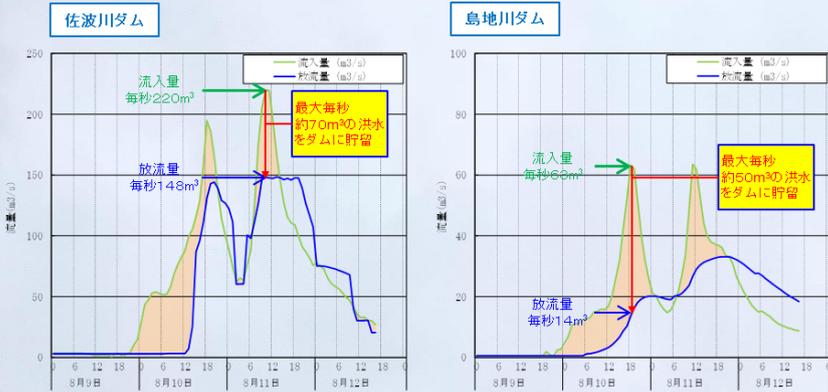


【出典】災害時気象資料—令和7年8月9日から12日にかけての山口県の大雨について—
令和7年8月13日 下関地方気象台

アメダス総降水量の分布図
（8月9日12時～8月12日24時）



ダムによる治水効果



—ダムの働き—

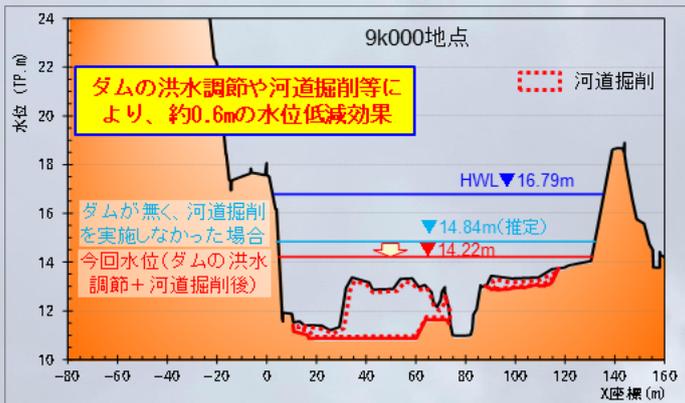
島地川ダムや佐波川ダムが洪水を一時的に貯めこみ、下流に流す水を調整しました。

河川工事による治水効果



—河道の整備—

川底を掘り下げて流れをよくする工事が進み、川の水が安全に流れるようになりました。

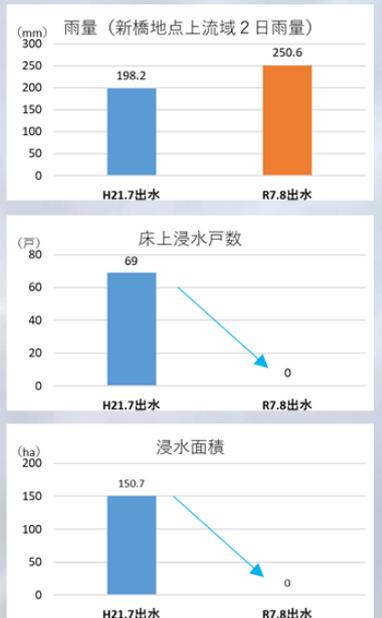


防府市上右田地区では、約60cmの水位低減効果が確認されました。

平成21年7月中国・九州北部豪雨により、佐波川流域のいたるところで河川が氾濫し、浸水被害が発生。また、防府市を中心に山口県内各地で土砂災害が多発。

平成21年7月の被害状況 (防府市下右田) 剣川2号堰堤 H24.7月完成

平成21年7月を越える降雨にもかかわらず、ダムの洪水調節や河道掘削工事など治水対策の成果により、今回の出水では被災ゼロを実現しました。



今回、平成21年の出水を上回る降雨にもかかわらず被災ゼロを実現できたのは、治水施設の整備やダムの洪水調節、堤防強化といった取組の成果であると同時に、地域のみなさまのご協力をいただきながら築いてきた防災体制が大きな力を発揮したものです。

しかし、自然災害はいつどのような形で襲ってくるか分かりません。これまでの成果に安心しきることなく、引き続き地域のみなさま一人ひとりに備えの意識を持っていただくことが大切です。

山口河川国道事務所は引き続き関係機関と連携し、地域のみなさまのご協力をいただきながら、さらなる防災・減災に向けた取組を進め、安心して暮らせる地域社会の実現を目指してまいります。

事業について詳しくはホームページをご覧ください

最新情報などを配信しています

佐波川情報を配信しています

X(旧Twitter)

Facebook

Instagram

X(旧Twitter)



Publisher:
MLIT Yamaguchi Office
River Management Division
発行
山口河川国道事務所
河川管理課